

編集後記

2022年の年明けから新型コロナウイルス感染症の変異株による感染拡大が続いています。生命を守る医療の在り方が注目される中、日々の喜びをそぎ落とさず、人が人らしく生きることにも改めて関心が寄せられ、世界中が模索した一年ではなかったでしょうか。

本号では昨年よりも多くのご投稿をいただきました。学生が自らを高める教育評価や急性期における家族への看護のみならず、管理やチーム連携などより多方面から看護の質向上に資する多くの知見を掲載できることを嬉しく思います。ご投稿くださいました執筆者の皆様、ご協力くださった査読者の先生方、英文校正をしてくださいました竹村先生に深く感謝申し上げます。

この冬に終えたオリンピックでは選手・組織において様々なチャレンジがあったと聞き及びます。従来通りにはいかない教育、臨床の場においても、従来を超えるチャレンジをされておられる皆様に敬意を表するとともに、その成果を皆様のもとへ学術誌としてお届けできるよう委員会としましても尽力してまいります。今後ともどうぞ、皆様のご協力・ご支援を宜しくお願い申し上げます。

委員長 安 田 千 寿